

REDD+実施における民間事業者 への期待

REDD+の重要なキーワード

- 段階的アプローチ
 - 準備段階
 - 試行段階
 - 市場活用段階
- ファイナンス・システム
 - 基金
 - 市場メカニズム
- Result-Base

民間の参入

幅広い参加とリスクの低減

Phases Approachが合意された

キャパシティ・ビルディングと戦略の開発

REDD+ の実施：戦略と活動の実施

Phase 1



戦略開発と
能力開発による
準備

Phase 2



戦略の実施と
活動のための
能力開発・試行

Phase 3



市場メカニズム
の本格的実施

ファイナンス・システム についてはCOP17で

Capacity building and strategy
development

Implementation of REDD+ strategy and
actions

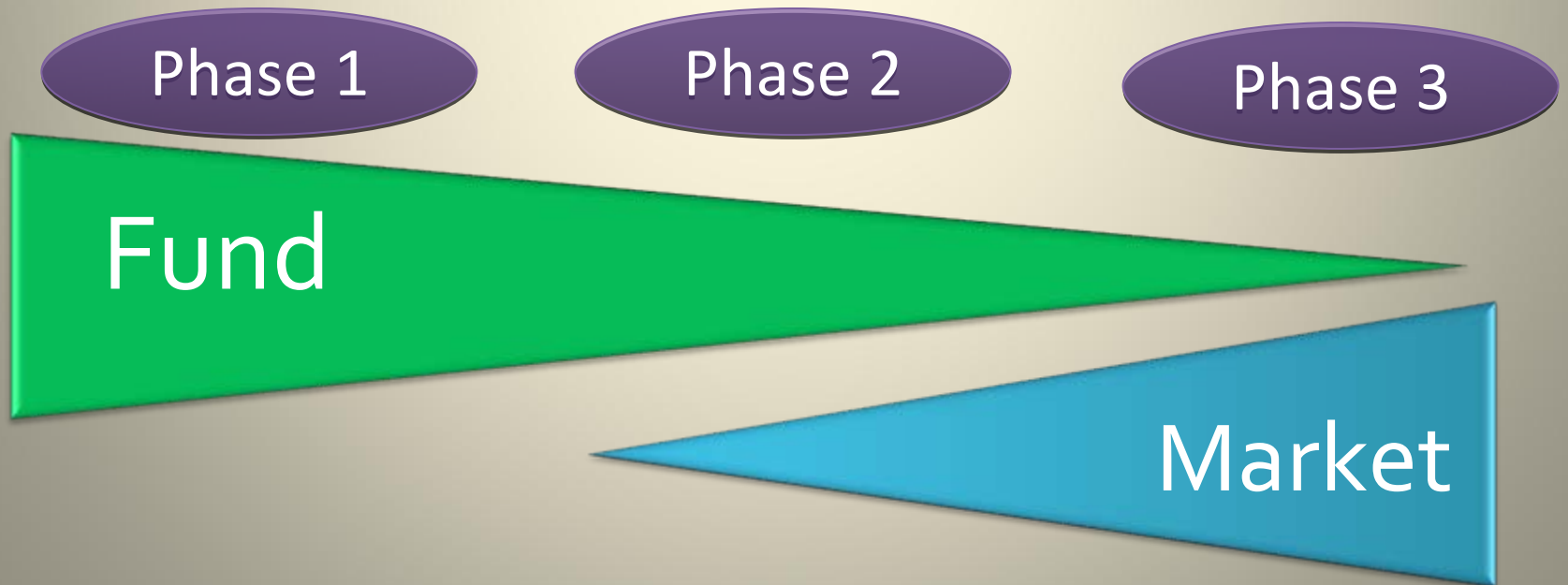
Phase 1

Phase 2

Phase 3

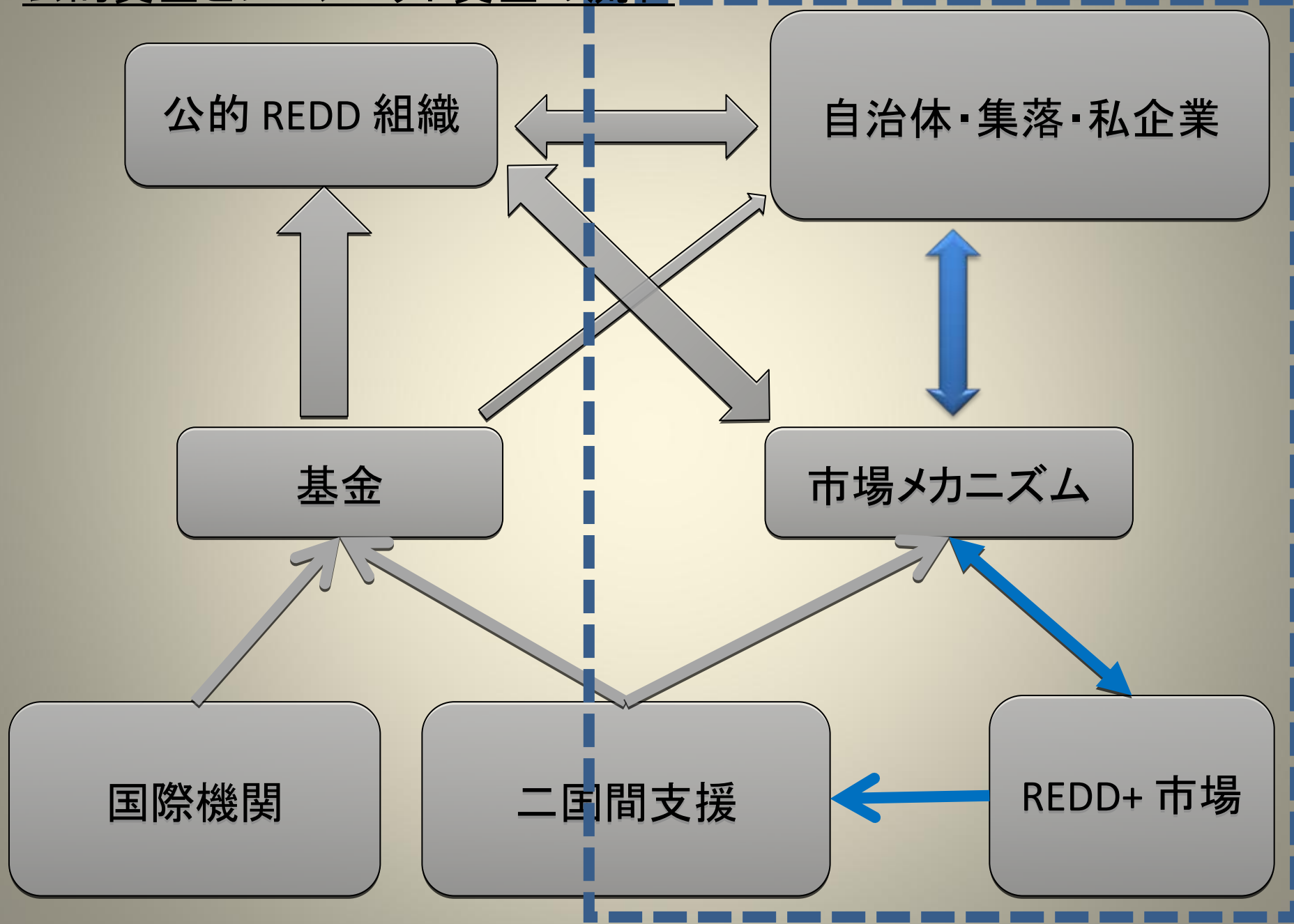
Fund

Market

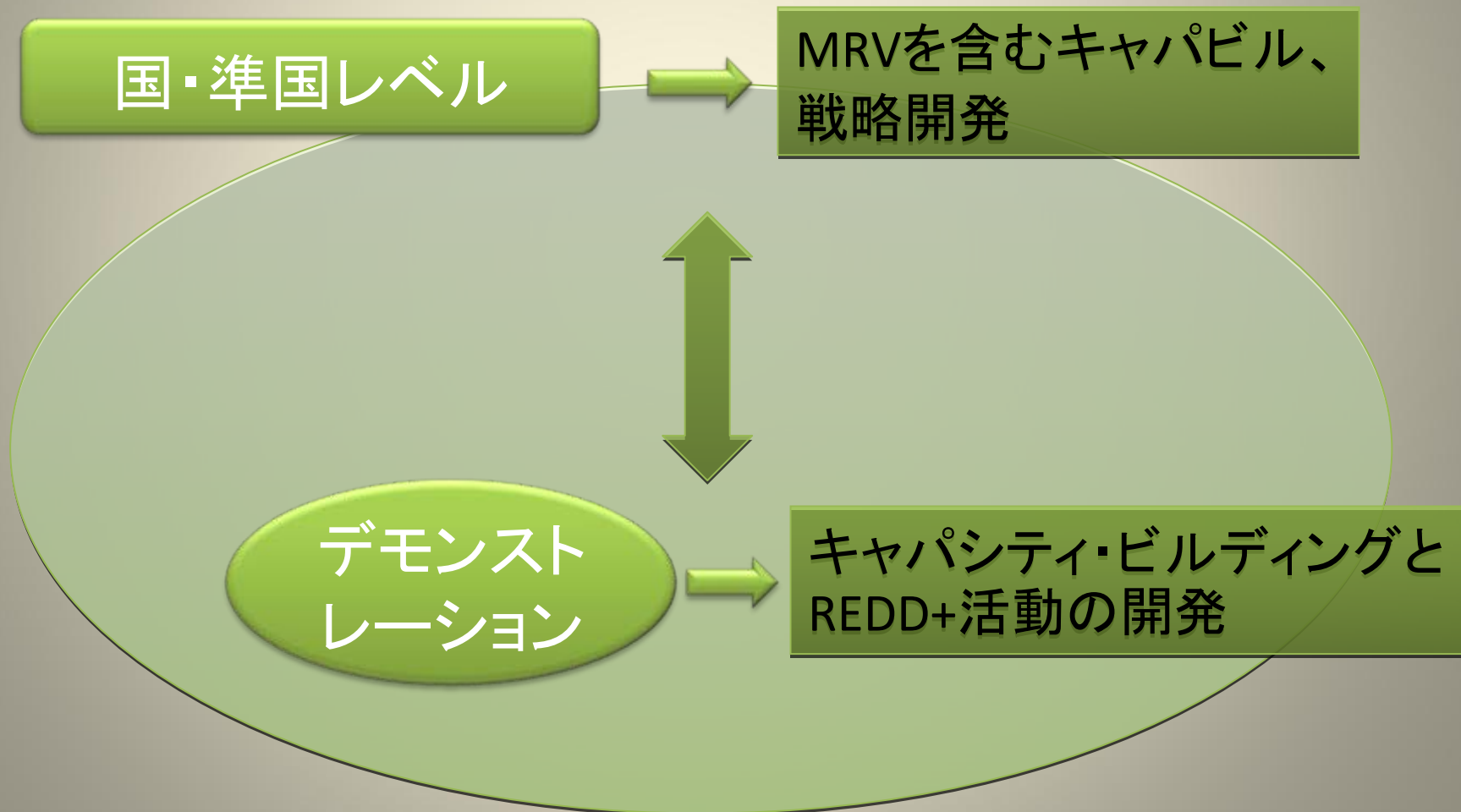


公的資金とプロジェクト資金の流れ

プロジェクト資金の対象



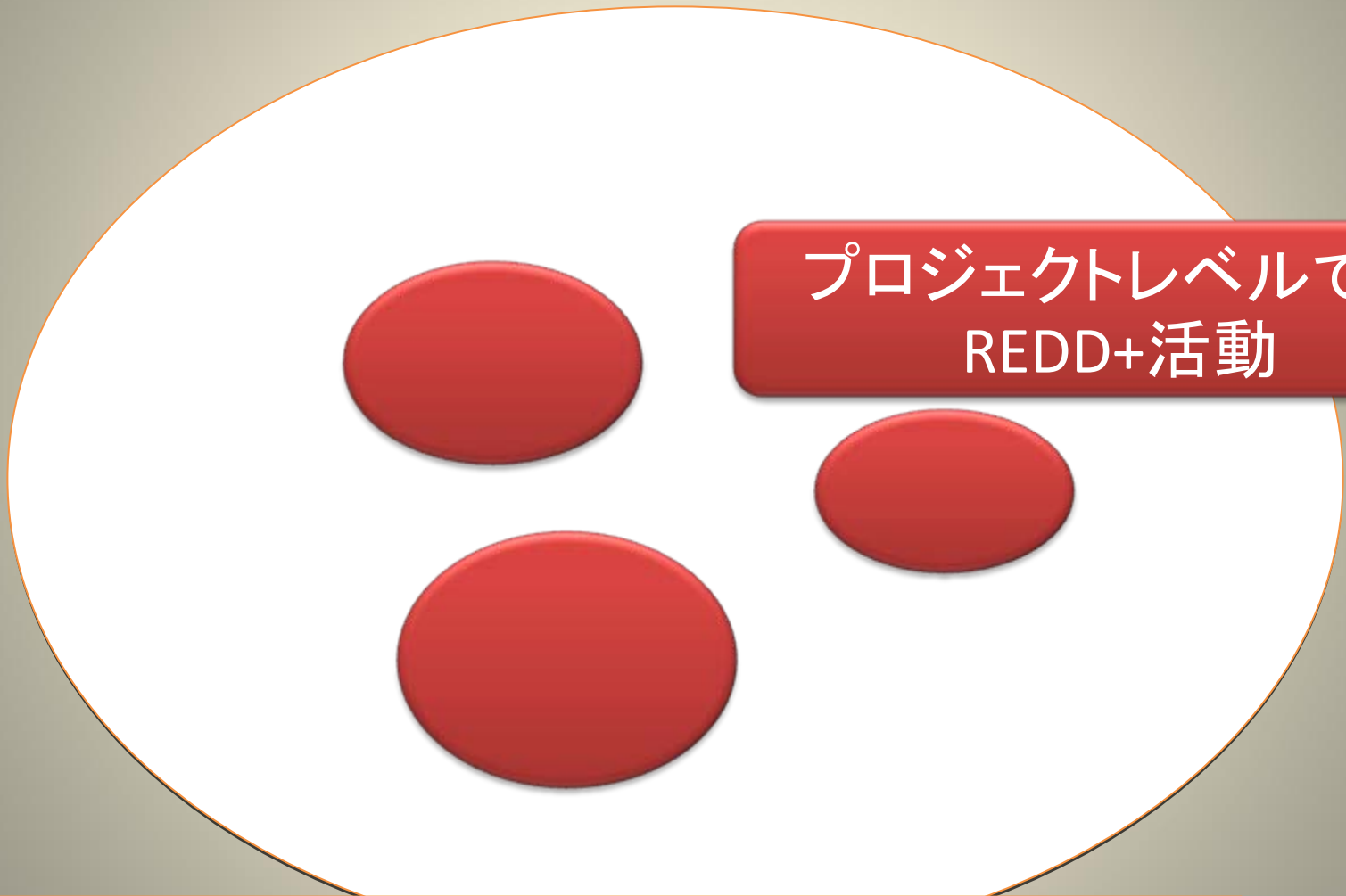
これまでの典型的なREDD+の実施体系



REDD+のアプローチ

- デモンストレーション・プロジェクト
 - 森林減少・劣化要因の解明と対策の試行
- 国・準国レベルでの戦略開発
 - MRV体制の確立
 - 広域でのREDD+施策、活動の開発
- 市場メカニズムの試行
 - MRVの試行、クレジット利潤の配分体制を試行
- 市場メカニズムの運用
 - MRV、クレジット利潤の配分体制の確立

REDD+活動の単位



プロジェクトレベルでの
REDD+活動

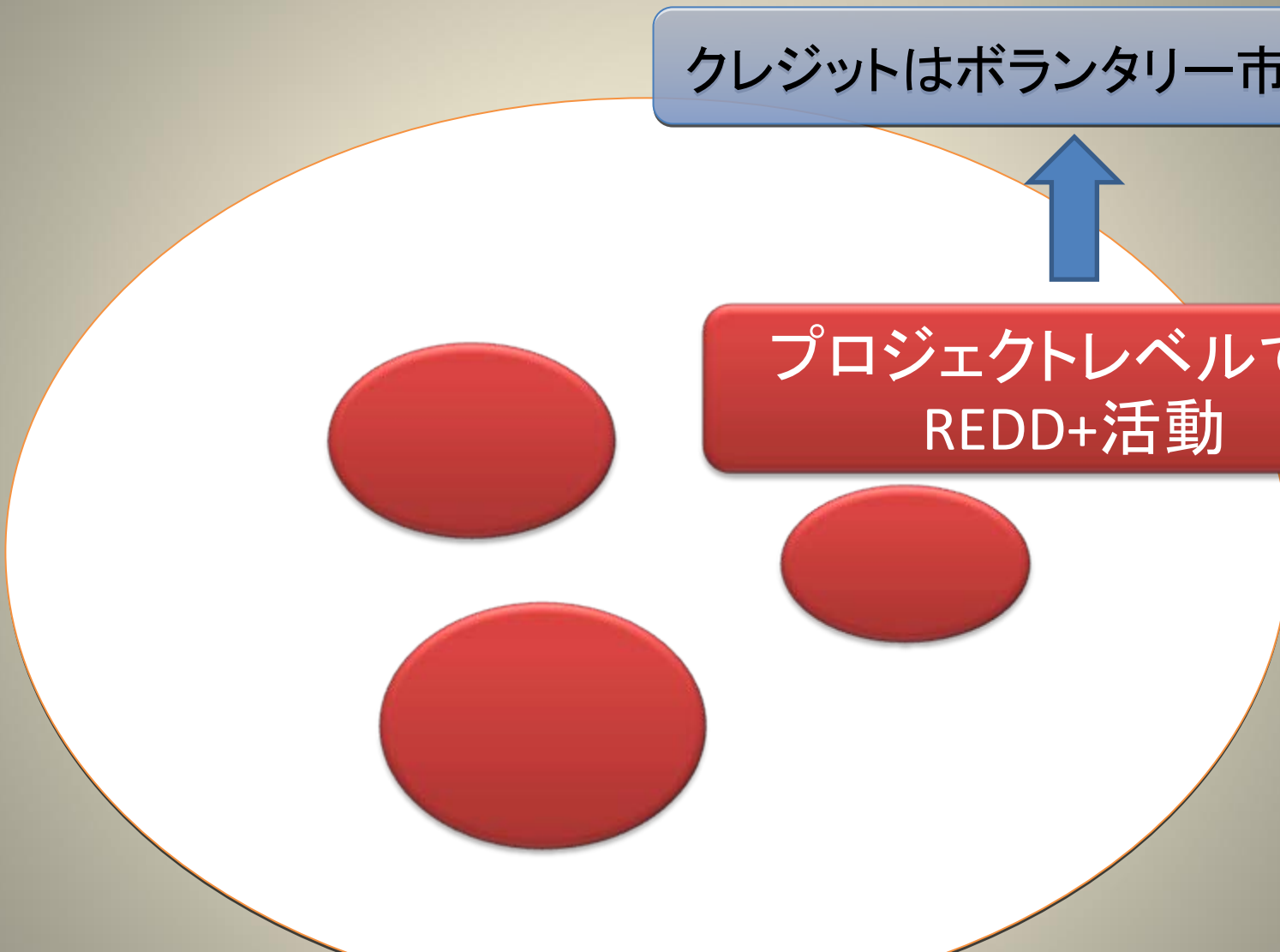
国・準国レベルでのREDD+活動の対象外

REDD+活動の単位とクレジット

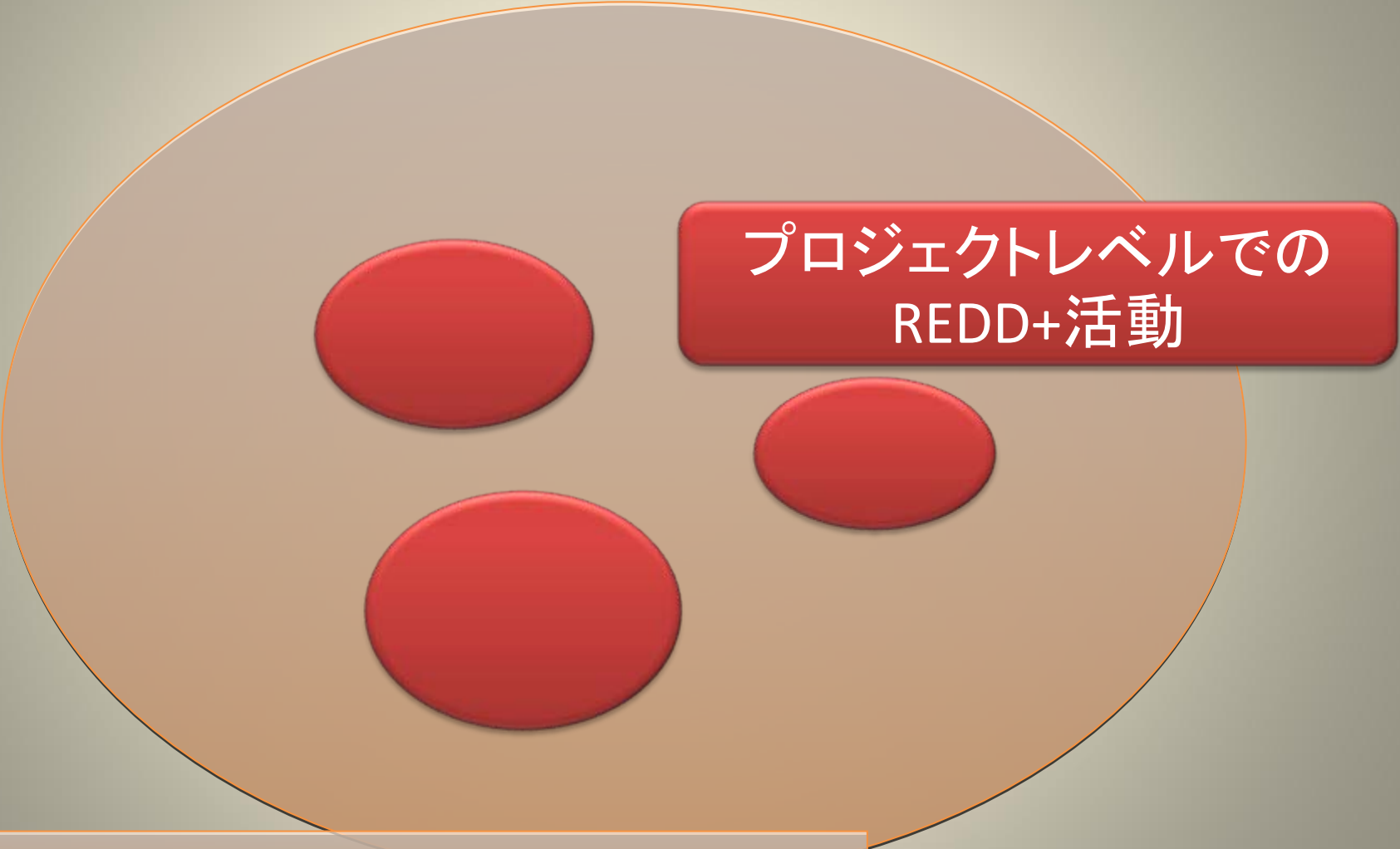
クレジットはボランタリー市場へ

プロジェクトレベルでの
REDD+活動

国・準国レベルでのREDD+活動の対象外



REDD+活動の単位



プロジェクトレベルでの
REDD+活動

国・準国レベルでのREDD+活動

REDD+活動の単位とクレジット

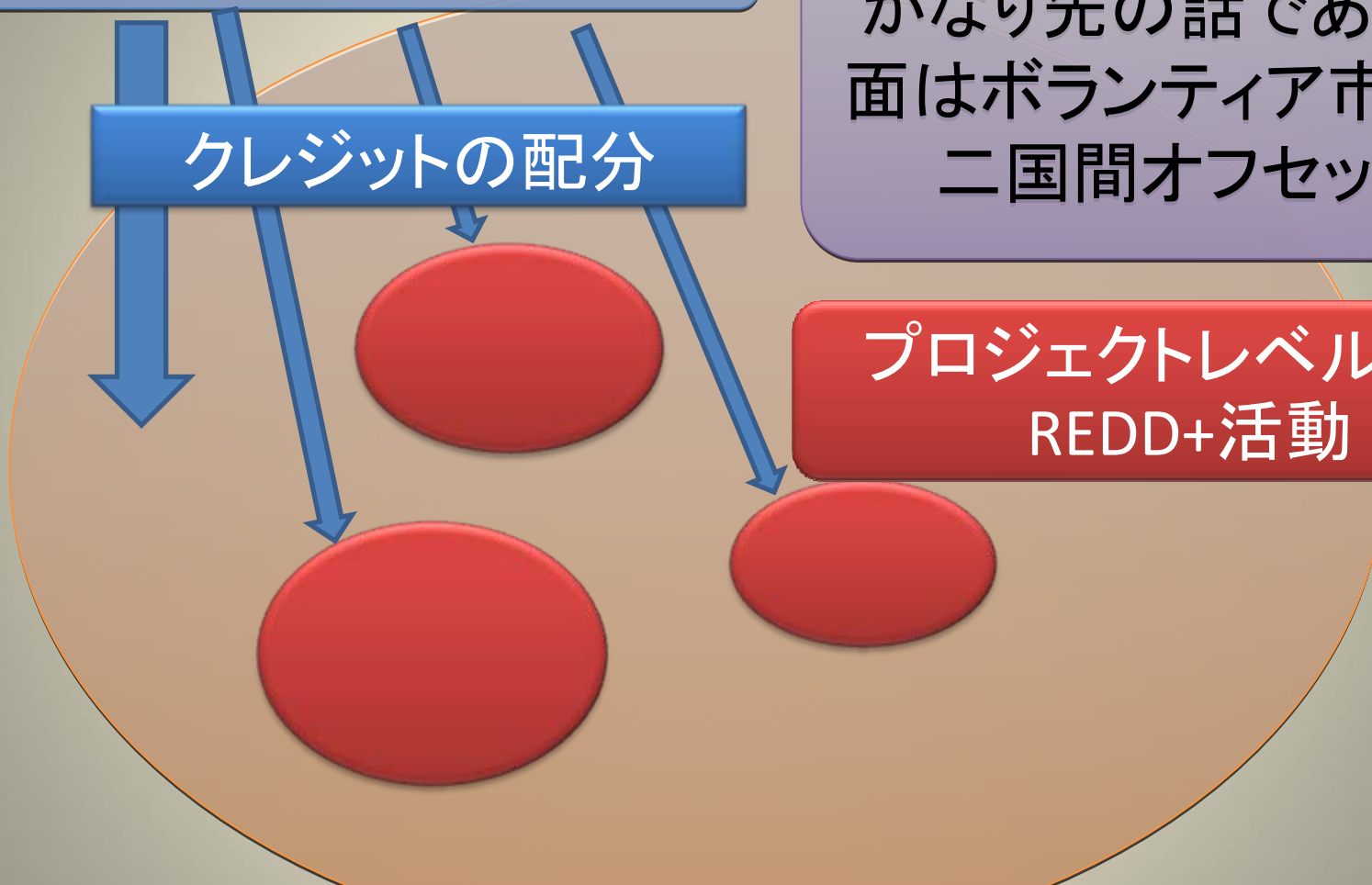
国・準国レベルでのクレジット発行

クレジットの配分

かなり先の話であり当面はボランティア市場、二国間オフセット

プロジェクトレベルでの
REDD+活動

国・準国レベルでのREDD+活動地域



クレジットに関連するキーワード

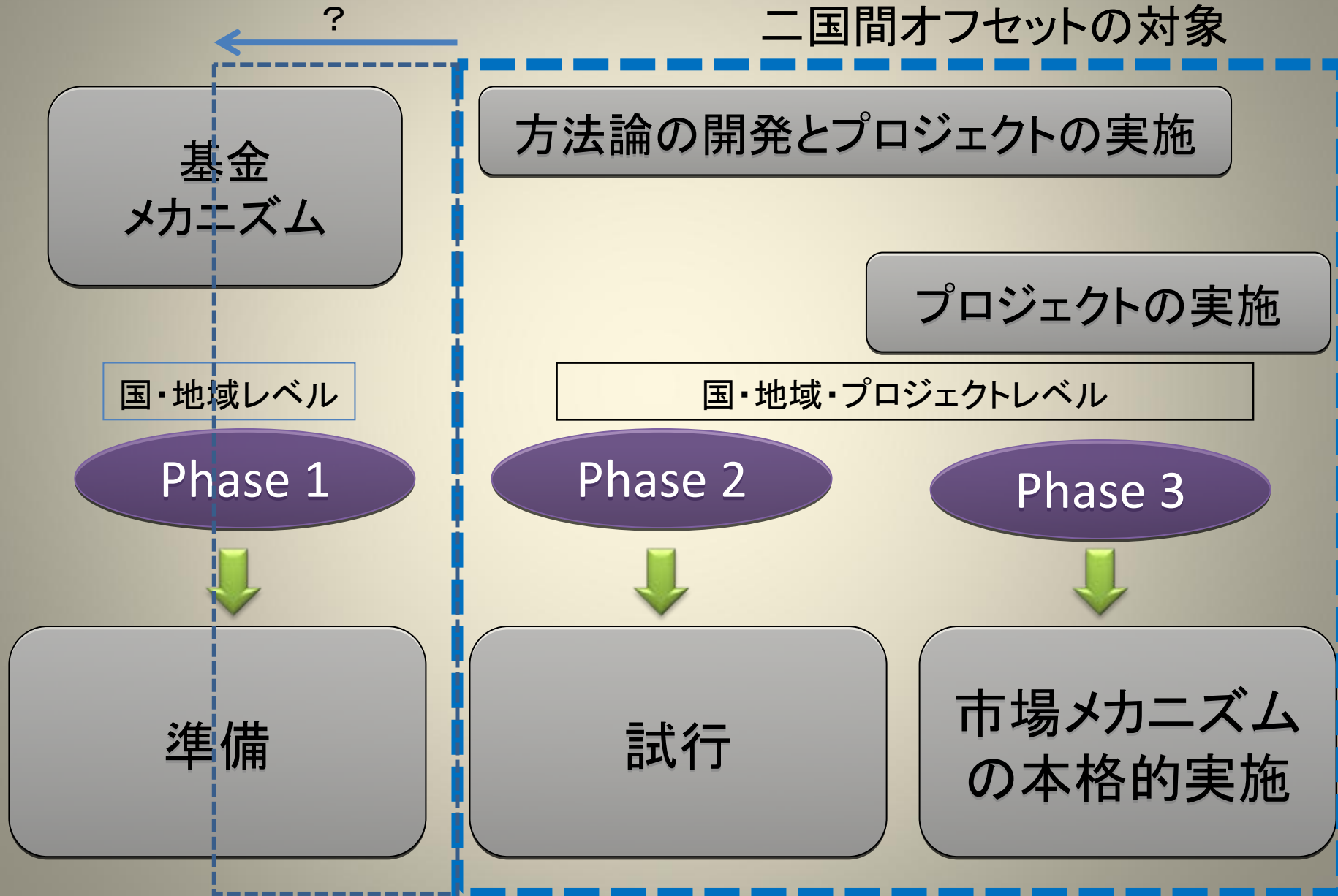
- 方法論
 - ガイドライン (COP16)
 - セーフガード (COP16)
 - 参照レベル (SBSTAで検討)
- クレジットの算定方法
 - MRV (SBSTAで検討)
- クレジットの発行
 - 国レベル、準国レベル、プロジェクトレベル

ボランティア市場の今後の動き

- REDD+の枠組みに整合性を持たせる
 - アーリーアクションとREDD+開始時期のギャップを埋めるためクレジットの発行を早める
- 二国間オフセットの制度を支持
 - 米国、日本
- REDD+とは異なる独自性を持たせる
 - 簡易化、プロジェクト重視、生物多様性

二国間オフセットの活動をどこに位置づけるのか

二国間オフセットの対象



現場は実際にはどうしているのか

- ホスト国、ドナーがREDDタスクフォース(オフィス)のもとで組織され、協調体制をとっている
 - 各ドナー間での参照レベルの整合性を指向
 - 国・準国レベル、プロジェクトレベルでのMRVの整合性を指向
 - REDD+の政策、活動については各ドナーの自主性が尊重されている
- 準国レベルに複数の国が共存するケースを避けようとしている(ボランティア市場のみを目標にしているプロジェクトはこの限りではない)
- ノルウェーのケース

各先進国のREDD+戦略

- 当面はボランティア市場へのクレジットの申請を前提とした方法論の開発
 - 二国間クレジットにも関心を持っている
- 発行されるクレジットの潜在量が大きなことから、国際的取り決めへの適合性について関心が高い
- 将来性を考えODA予算によるMRV,プレイヤーのキャパビル、ガバナンスへの投資に積極的である

まとめ

- REDD+に関心が薄い国では、プロジェクトレベルで対応可能
- REDD+に関心がある国では、プロジェクトレベルと国・準国レベルの整合性に配慮する必要がある。
 - 個別企業での対応だけでなく、政府間ベースでの調整が必要
 - キャパビル・ガバナンスの支援は国が対応すべき



ODA予算も含めた政府と企業との協調体制が
戦略的に必要